

オンライン開催

広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

本研修会恒例となった、国立がん研究センター東病院 中村能章先生 vs. 奈良県総合医療センター 東光久先生の師弟競演研修会を本年も開催いたします。それぞれ分野は異なりますが、各々の分野における最先端の情報を分かりやすく教えていただいております。大変貴重な機会ですので、多くの方の御参加をお待ちしております。

広島大学病院 がん治療センター長 岡本 渉

講演1 (座長) 広島大学病院 がん化学療法科教授/がん治療センター長 岡本 渉 先生

「SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN/CIRCULATE-Japan が主導するがん個別化治療」

国立がん研究センター東病院

医薬品開発推進部門 医薬品開発推進部 国際研究推進室 室長
/トランスレーショナルリサーチ支援室/消化管内科

中村 能章 先生

中村能章先生には、がんゲノム研究・医療開発における最新の状況をお話をいただきます。

中村先生は、これまで2本のNat Med [IF: 82.9]、Nat Rev Clin Oncol [IF: 78.8]の筆頭著者をはじめとした業績に続き、今年も、J Clin Oncol [IF: 45.4]の筆頭著者、多くの論文の責任著者、海外研究者との共同研究論文における最終著者など、続々とエビデンスを発信し続けています。

(中村先生より) いつもSCRUM-JapanやCIRCULATE-Japanでは大変お世話になっております。今年も我々SCRUM-Japan / CIRCULATE-Japanにおいて生み出されましたがん個別化治療における様々なエビデンスを紹介させていただきます。

講演2 (座長) 広島大学病院 がん化学療法科助教 徳毛 健太郎 先生

「患者力からPerson-centered careへ」

奈良県総合医療センター 総合診療科 部長/臨床研修医支援室 室長
総合南東北病院 総合内科 非常勤医師

東 光久 先生

東光久先生には、医療者と患者・家族の関係構築に重要な要素とそれを活かすための心得についてお話をいただきます。

東先生は、がん診療やリウマチ・膠原病のプロフェッショナルとして御活躍され、現在は総合診療医としての診療のほか、医師教育やキャリアパス支援にもあたられています。また、患者・家族と医療者が共に健康問題の解決・改善に向けて歩んでいくために重要な要素として「主治医力」「患者力」を提唱され、啓発活動を行われています。

(東先生より) 人はさまざまな顔(役割)を持って生きている。がん患者であることも、その人における役割の一つである。演者は、がんを持つ人には【患者力】が重要であると考え、それを医療者が引き出せるようになるための啓発活動を行っている(Patient Empowerment Program, PEP)。本講演では、がんを持つ『人』を中心とした医療に、患者力がどのような意味があるかを一緒に考えていきたい。

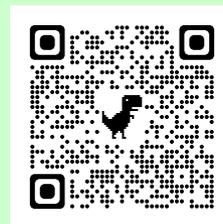
開催日時 ▶ 2024年3月1日(金)18:30~20:00(予定)

開催方式 ▶ Zoomを用いたオンライン開催

申込方法 ▶

QRコードを読み取り、申込フォームに入力後送信してください

※申込締切 2月22日(木) 17:00 要申込



お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)

(共催) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン